

GREEN RADAR

全農長野県本部情報 / グリーンレーダー



長野県A・コープレギュラーチェーン解散式典
ならびに株式会社長野県A・コープ設立式典

平成27年度のスタートにあたって

A-Reports

- ・元気な産地づくりを目指して
～JA長野県青年部協議会との意見交換会を開催～
- ・長野県A・コープが生まれ変わりました！
～協同の力を結集した株式会社長野県A・コープが始動～
- ・加工品で「りんご三兄弟」をPR
～「りんご三兄弟ソフトクリーム」発売～

4

Vol.431
APRIL 2015



光と風と水のハーモニー

JA全農長野

平成27年度のスタートにあたって

全農長野県本部 県本部長 高木幸一郎

各地で花の便りを聞く季節となりましたが、春は別れと出会いの時期でもあります。全農長野県本部では、27年3月末に27名の職員が退職され、4月より新たに13名の新採用職員、3名のキャリア採用職員が入会し、新体制が整いました。

26年度は、春先の豪雪災害、度重なる降雹、夏場の集中豪雨、御嶽山噴火、神城断層地震と、かつてない自然災害が多発しました。また、飼料、資材の高騰、競争激化など厳しい環境にありましたが、全農長野県本部の取扱高は計画を上回る3、100億円余となりました。これは、組合員の皆様のご努力と系統への結集の成果であり、JA長野県グループの総合力の強さの証でもあります。

組合員への生活支援、地域づく

りを進めるため、(株)長野県A・コープの設立、LPガス小売事業の開始など全農長野県本部とJAとの一体化の新たな展開が始まりました。これからも一体化を進め、自己改革の取組みとして組合員と地域のための大きな事業に発展させなければなりません。

さて、アベノミクスによる急速な円安は、資材や飼料の高騰を招き、農家経営を圧迫しています。また、政府は、農業者戸別所得補償制度の廃止、米の生産調整の廃止を打ち出し、過去最大規模の米価下落を招きましたが、米価下落に対するセーフティネットは極めて薄いものしかありません。

安倍政権は、全てに競争原理を持ち込み強いものだけが生き残る新自由主義的考え方が基本となっており、その最たるものがTPP

であり、農業・農協改革です。政府の進める農業改革には、日本の農業や自然や村を守ってきた中山間地に住む農家、若い担い手をどうやって守っていくのかの考えは全くありません。TPP交渉が大詰め段階に入ったと言われますが、世界の6割を占める環太平洋を巡り、アメリカと中国が自国の利益を得やすいルールを広げようとしています。巨大な経済圏の主導権をどこが握るのか、日本の将来にも大きな影響を及ぼすこととなります。

人口急減により農村社会の過疎化が急速に進行していますが、農協はその運動の歴史が証明するよう、そして、世界が絶賛しているように、地域にしっかりと根を下ろし食と農業と地域とくらしを守ってきました。地方創生の主役

は農協であります。

今年は中期3ヶ年計画の仕上げの年ですが、次期3ヶ年計画樹立の年でもあります。「協同組合人は未来を描く創業者になれ。」と言われます。全農長野県本部は、経営環境の変化を冷静にとらえ、将来あるべきビジョンに向け、組合員目線、将来的な目線での改革、新たな挑戦をしていくことを申し上げ、新年度スタートにあたってのご挨拶とします。

平成27年4月1日

県本部長 高木幸一郎



元気な産地づくりを目指して

～JA長野県青年部協議会との意見交換会を開催～

全農長野県本部は、2月23日(月)にJA長野県ビルでJA長野県青年部協議会との意見交換会を開きました。これは「元気な産地づくりミーティング」として今年で9年目の開催となります。青年部の役員、各JAの単組部長や事務局、全農長野県本部からは小林副本部長ほか関係部長など、関係者31名が出席しました。

冒頭、青木正明JA長野県青年部協議会会長より「政府が掲げている農家所得倍増に向けて、全農長野県本部は大事な組織であり、これからもお付き合いしていきたい」とあいさつがありました。その後、全農長野県本部からは「農畜産物の販売状況・資材の情勢並びに今後の対応」「平成27年度JA長野県グループの生産振興の取組み」について説明をしました。

今回の意見交換会は、JA長野県青年部協議会から農業経営に関わる課題や全農長野県本部への要望を事前に集約し、その回答を踏まえて意見を交換しました。青年部役員より、「担い手不足、若手不足への対応をどうすればよいか」「農畜産物の輸出に関してどのような対応を考えているか」「米の需要はどのように推移していくと予測しているか」「長野県農畜産物のブランド展開、販売戦略、P



あいさつをする青木JA長野県青年部協議会会長



会場では加工製品等を展示して紹介

Rをもっと強化して欲しい」などの意見・要望が出され、全農長野県本部からはそれぞれに対する考えを説明しました。

意見交換会の最後に、今回出された意見や要望を事業に反映し、今後も更に協力し合い長野県農業の発展につなげていくことを確認しました。

会場には平成26年度に全農長野県本部が実施した農畜産物宣伝事業の実績や県産農畜産物を原料とした加工製品を紹介するコーナーを設け、リンゴジュースと松本山雅牛乳の試飲も行い、総合品目供給産地「長野」の発展を確認しました。

▼企画課

JAみなみ信州協同経営5SSが入賞！

～JX日鉱日石エネルギー(株)関東第1支店主催「カーメンテギネスチャレンジコンテスト」タイヤ販売部門～

JX日鉱日石エネルギー(株)関東第1支店主催「カーメンテギネスチャレンジコンテスト」のタイヤ販売部門に、JAみなみ信州の協同経営5SSが入賞しました。このコンテストは、厳しい競争に勝ち残る強いSS作りを目指してカーメンテナンズ収益の過去最高売上達成を目標に、年間最大商戦月の12月に開催されたものです。

JX関東第1支店管内の324SSが参加する中、グリーンパーク桐林SS加藤マネージャー・まつかわSS佐々木マネージャー・市田SS塩沢マネージャーが出席し、表彰の栄誉を受けました。表彰式では、複数の部門で表彰を受ける他社マネージャーの取り組み姿勢、SS業界でいちばん勉強する集団を目指しているという他社幹部の力強い言葉にたくさん

の刺激を受け、「更に意欲的にSSの運営に取り組みみたい」と語ってくれました。



表彰を受ける協同経営SSマネージャー（右から市田SS塩沢マネージャー、まつかわSS佐々木マネージャー、グリーンパーク桐林SS加藤マネージャー）

株式会社長野県A・コープの基本方針

1.基本理念

株式会社長野県A・コープは、協同の精神にもとづき、JAの特色を生かした農畜産物の販売拠点ならびに生産者と消費者を結び架け橋として、新鮮・安全・安心・健康をお届けするとともに、地域社会の発展に貢献します。

2.事業方針

- (1) 地域に密着したJAの総合力と結集力を生かした事業展開により、組合員ご家族・地域利用者のふだんのくらしをより豊かに支えるJAグループの生活事業拠点をめざします。
- (2) 地元産・信州産・国産優先の農畜産物販売拠点として、JAグループと連携し生産者直売および域内流通の取扱拡大をすすめ、地域農業の振興と農畜産物の情報発信を推進します。
- (3) A・コープのこだわりを発揮した物流・商流・情報システムの効率化をはかり、新鮮・安全・安心・健康・環境に配慮したJAならではの商品力・仕入れの強化により、収益向上に努めます。
- (4) 一元的な人事労務・コンプライアンス管理体制のもと、協同組合理念にもとづく人材育成と教育研修をすすめるとともに、全員参加の経営と働き甲斐のある明るい職場づくりに取り組みます。
- (5) 迅速な経営判断と意思決定にもとづく新規出店・店舗リニューアルをすすめ、将来にわたる経営基盤の強化と地域雇用の確保をはかります。

3.会社概要

〔社 名〕	株式会社長野県A・コープ
〔本社所在地〕	長野県長野市市場2番地1
〔設 立〕	平成26年11月
〔資本金・資本準備金〕	
資本金	243百万円
資本準備金	200百万円
〔事 業 開 始〕	平成27年4月1日
〔事 業 内 容〕	総合食料品小売業
〔店 舗 数〕	長野県内28店舗

4.株主

信州うえだ農業協同組合、信州諏訪農業協同組合、上伊那農業協同組合、みなみ信州農業協同組合、木曾農業協同組合、松本ハイランド農業協同組合、洗馬農業協同組合、大北農業協同組合、グリーン長野農業協同組合、ちくま農業協同組合、須高農業協同組合、ながの農業協同組合、北信州みゆき農業協同組合、全国農業協同組合連合会（14株主）

5.取締役・監査役

〔取締役〕 17名 〔監査役〕 2名

役 職 名	氏 名	所属組織名	役 職 名
代表取締役社長	千 野 勇		
専 務 取 締 役	小 林 準一		
常 務 取 締 役	大 森 賢一		
取締役（非常勤）	芳 坂 榮一	信州うえだ農業協同組合	代表理事組合長
取締役（非常勤）	雨 宮 勇	信州諏訪農業協同組合	代表理事組合長
取締役（非常勤）	御子柴 茂樹	上伊那農業協同組合	代表理事組合長
取締役（非常勤）	矢 澤 輝海	みなみ信州農業協同組合	代表理事組合長
取締役（非常勤）	高 橋 徳	木曾農業協同組合	代表理事組合長
取締役（非常勤）	伊 藤 茂	松本ハイランド農業協同組合	代表理事組合長
取締役（非常勤）	都 筑 和紀	洗馬農業協同組合	代表理事組合長
取締役（非常勤）	山 田 高司	大北農業協同組合	代表理事組合長
取締役（非常勤）	竹 内 守雄	グリーン長野農業協同組合	代表理事組合長
取締役（非常勤）	松 崎 一男	ちくま農業協同組合	代表理事組合長
取締役（非常勤）	牧 良一	須高農業協同組合	代表理事組合長
取締役（非常勤）	豊 田 実	ながの農業協同組合	代表理事組合長
取締役（非常勤）	櫻 沢 和美	北信州みゆき農業協同組合	代表理事組合長
取締役（非常勤）	真 島 茂夫	全国農業協同組合連合会長野県本部	副本部長
監査役（非常勤）	武 田 喜忠	全国農業協同組合連合会長野県本部	監査主任者
監査役（非常勤）	飯 嶋 光俊	全国農業協同組合連合会長野県本部	業務点検・コンプライアンス部監理役

長野県A・コープが生まれ変わりました！

～協同の力を結集した株式会社長野県A・コープが始動～

長野県内JAと全農は、共同出資による「株式会社長野県A・コープ」を設立し、JAと全農による協同経営事業方式から株式会社長野県A・コープに店舗経営を移管し、平成27年4月より営業を開始しました。

長野県A・コープレギュラー店舗協同経営委員会と全農長野県本部は2月2日(月)、長野市のホテルメトロポリタン長野で多くのご来賓にご臨席いただき、「長野県A・コープレギュラーチェーン解散式典」ならびに「株式会社長野県A・コープ設立式典」を開催しました。

全農長野県本部運営委員会 大槻憲雄会長は主催者あいさつで、長野県A・コープ店舗事業に対する関係各位への謝意とともに「株式会社として新たなスタートとなるが、今まで以上に、地域組合員・利用者の皆様の期待に応えられる拠点づくりをめざし、JAグループの力をさらに結集し、大きな飛躍ができることを切望します」と述べました。続いて、A・コープレギュラー店舗協同経営委員会 矢澤輝海委員長より「4月からは、株式会社長野県A・コープとして、JAならではのこ

りと特色をさらに強化し、組合員ご家族・地域利用者の皆様に喜んでいただけるサービスに努め、新鮮・安全・安心な農畜産物を自信をもってお届けする取組みにまい進してまいりたい。これまで以上のご指導をお願い申し上げます」とのあいさつがありました。

解散式典の中では、平成8年のA・コープレギュラーチェーン発足以来、組合員・利用者のくらしと食を守る事業拠点づくりと組合員・生産者の結集に積極的に取り組まれたレギュラーチェーン加盟の13JAに感謝状が授与されました。

また、長野県A・コープレギュラー19年の主な取組みと成果報告、株式会社長野県A・コープ設立に至る経過報告がされました。

株式会社長野県A・コープ設立式典で千野勇代表取締役社長は、「JAの特色を最大限発揮し、A・コープ店舗の基本理念を継続し、協同の力を結集した事業展開をすすめます」と基本方針を表明しました。

今後とも、JA・地域に密着したA・コープ店舗をご愛顧ご利用賜りますようお願い申し上げます。

A・コープ店舗一覧表

店 舗 名	住 所	TEL
A・コープファーマーズうえだ店	上田市国分上沖80	0268-27-5580
A・コープコアおだ店	上田市大字中野64-1	0268-38-3828
A・コープ松代店	長野市松代町西寺尾町裏1450	026-290-6655
A・コープ篠ノ井店	長野市篠ノ井布施五明3200	026-290-7272
A・コープファーマーズ南長野店	長野市篠ノ井杵淵大門西472-2	026-214-8877
A・コープあんず店	千曲市大字雨宮317	026-274-2800
A・コープびんぐし店	埴科郡坂城町大字上五明字久保田610	0268-81-3334
A・コープ白馬店	北安曇郡白馬村北城6398-1	0261-72-6000
A・コープすこう店	須坂市高畑町1080-1	026-248-8888
A・コープしんまち店	長野市信州新町新町958	026-262-3429
A・コープみゆき店	飯山市大字常盤字久保通り7419	0269-81-2222
A・コープおみ店	東筑摩郡麻績村麻3885-イ	0263-67-2009
A・コープアピスせば店	塩尻市大字洗馬2729-1	0263-54-2302
A・コープサンライフ店	茅野市玉川神之原2802-2	0266-73-1111

店 舗 名	住 所	TEL
A・コープ原村店	諏訪郡原村弘沢11909-2	0266-79-4995
A・コープ富士見店	諏訪郡富士見町落合9984-1025	0266-62-2090
A・コープピアみどり店	茅野市豊平3066	0266-82-2200
A・コープきそ店	木曽郡木曽町福島塩淵2872	0264-23-3271
A・コープ伊那中央店	伊那市狐島4385-1	0265-72-9644
A・コープ美すず店	伊那市美簗上原4283-3	0265-72-3005
A・コープこまがね店	駒ヶ根市東町3-12	0265-81-1107
A・コープ七久保店	上伊那郡飯島町七久保1539-2	0265-86-3735
A・コープ宮田店	上伊那郡宮田村3328	0265-84-1202
A・コープリカまつかわ店	下伊那郡松川町大字元大島3274-6	0265-36-2577
A・コープたかぎ店	下伊那郡喬木村阿島1282	0265-33-4488
A・コープいいだ店	飯田市曙町142	0265-23-7788
A・コープあいばんいいだ店	飯田市桐林1040-2	0265-26-8320
A・コープブラックあち店	下伊那郡阿智村大字春日3220	0265-43-2003



千野社長の新会社の基本方針表明



A・コープレギュラー店舗協同経営委員会
矢澤委員長の主催者あいさつ



全農長野県本部運営委員会
大槻会長の主催者あいさつ

加工品で「りんご三兄弟」をPR

「りんご三兄弟ソフトクリーム」発売

全農長野県本部果実課は、ソフトクリーム卸売会社の(株)信越フリーザーと「りんご三兄弟ソフトクリーム」を共同開発しました。県オリジナル品種「秋映」「シナノスイート」「シナノゴールド」のジュースを原料に各品種の味の違いがはつきりわかるように製造過程で工夫を重ね、それぞれの風味を生かした味わいに仕上がっています。

現在「りんご三兄弟」は生果に加えて、品種別のジュースを長野興農(株)で製造販売していますが、ソフトクリームの商品化により、**果物を生果ではなく加工品で摂ることが多い**



2月14日の発売開始日に長野市内のイベントで販売

◇ソフトクリームを販売しているところ(3月20日現在)・小布施ハイウェイオアシス(秋映、シナノスイート、シナノゴールド)・梓川サービスエリア(秋映、シナノスイート、シナノゴールド)・姨捨サービスエリア上り線(シナノゴールド)・駒ヶ根サービスエリア上り線(シナノゴールド)・いづみや旅館[長野市・善光寺仲見世](シナノゴールド)・豊野温泉りんごの湯(秋映)・道の駅[花の駅・千曲川](シナノスイート) 県内のJA直売所、道の駅、サービスエリア、パーキングエリア、飲食店に順次拡大予定です。

※農林水産省平成22年6月 果樹をめぐる情勢

長野駅直結の立地を活かし 長野県産花きを県外へPR

「長野駅ステーションビルMIDORI」内で

長野県産花き産地合同フェアを開催

全農長野県本部野菜花き課は3月7日(土)と8日(日)、長野駅ステーションビルMIDORI内に新規オープンした(株)又ボー生花店「フルブル」で、信州産花きの合同産地フェアを開催しました。

(株)又ボー生花店は年間を通して長野県産花きを積極的にお取り扱いいただいている生花店です。今回は冬期品目としてアルストロメリア、ダリア、チューリップ、カンパニウラの宣伝販売を行いました。

店頭では産地JAと全農長野県本部の担当者が販売促進を行いました。お客様と直接会話をすることで花に対する消費者の期待を感じました。また、複数産地の品目が店頭に並び



オープンと同時に入店する多くのお客様



長野県産花きが陳列された店頭

花束を持って街を歩こう！

「信州フラワーウォークin長野市」を実施

長野県産アルストロメリア、カーネーションで作った花束を持って歩いてもらう、というイベント「信州フラワーウォークin長野市」が3月13日(金)に行われました。3月は、ホワイトデーや転勤、退職、卒業など花を贈ることが多いシーズンです。この機会に長野県産花きをPRしようと、長野県園芸作物生産振興協議会が企画しました。

この日のために県内花き産地の皆さんが花束を制作し、JA長野県ビルや長野県庁などで300束を限定販売しました。JA上伊那がアルストロメリア、南信ハウスカーネーション組合がカーネーションを提供し、ピンクを基調に10本が束ねられた花束はやさしい色合いで好評でした。

野菜花き課は、今後も長野県産花きの認知度を高め、花の消費拡大につながる取組みを企画していきます。



JA上伊那 御子柴組合長から花束を受け取る長野県農政部長 中村部長



左から、南信ハウスカーネーション組合 福澤副会長、同組合 小林組合長、JA上伊那 御子柴組合長、小林副本部長

参考 平成26年度2月上旬末
全農長野県本部花き販売実績

全体	約60億円(前年比91%)	
カーネーション	約12億円(前年比85%)	生産量全国一位
アルストロメリア	約8億円(前年比99%)	生産量全国一位

量販向けコギクの専用栽培に 実需者・市場は大きな期待！

「北信地区量販向けコギク生産振興研修会を開催」

全農長野県本部北信事業所生産販売課と北信園芸事業推進協議会は2月18日(水)、グリーンホールミナミ(長野市)で北信地区量販向けコギク生産振興研修会を開き、北信地区のJA管内生産者や栽培予定者、JA担当者など約100名が参加しました。

はじめに、昨年7月28日に実施したコギク立毛品評会の褒章授与式を行い、優秀者5名を表彰しました。

研修会では、平成26年度コギクの生産販売上の課題として、一部にアブラムシ、ハダニ、白サビ等が発生したことで、生産拡大が進んだことによる品質のばらつきが出たことが報告され、JA長野県営農センターから改善に向けた栽培指導がありました。また、主要販売先である(株)なにわ花いちばの住野係長から情勢と産地への要望が報告されました。住野係長は「北信地区の量販向けコギクの専用栽培は他産地に先駆けた取組み。コギクは年間を通じて需要があるため、実需者・市場は大き

な期待をしています」と述べられました。

コギクは特に旧盆には欠かせない商材で、墓参りの必需品としての需要が底堅くあります。一方、消費者が花束を購入する場所は、小売専門店からスーパーやホームセンターなどの量販店を利用する割合が高まる傾向にあります。この需要に合わせて生花業者が花束に加工しやすく、生産者も従来栽培と比べて労力を軽減して栽培できる量販向けコギクの専用栽培が県下各地で進められています。北信地区JAの量販向けコギク栽培は、本格的に取り組みを始めてから3年が経過しました。平成26年の販売実績で約126万本(前年比110%)となり、生産量は3年前と比較して2・5倍に拡大しました。県下全体の生産量の約8割を北信地区が占めています。



研修会に先立ち行われた褒章授与式



県営農センターの栽培指導を受ける参加者



「コギク量販向け専用栽培に大きな期待をしている」と話す(株)なにわ花市場 住野係長

卸売市場担当者の長野県産農産物の知識向上で有利販売へ

～京浜地区卸売市場若手担当者産地研修会を実施～

全農長野県本部東京販売事務所と長野県野菜推進協議会との専門委員会は2月17日(火)と18日(水)、京浜地区の卸売市場若手担当者を対象に「きのご現地研修会」を行いました。

1日目は、JA中野市管内で大型生産者の栽培施設とぶなしめじのカット工場、またJA北信州みゆき管内でえのきたけ、ぶなしめじ、なめこの生産・出荷現場を視察しました。それぞれの産地を実際に見ることで本県産きのこの特徴を学びました。

2日目は、(一社)

長野県農村工業研究所できのこの機能性や安全安心対策の研修を行いました。きのこの含まれている成分は人間にとって様々な効果が期待できること、また今後、



JA中野市管内のえのきたけ栽培施設を視察



JA北新州みゆき管内の栽培施設で説明を受ける参加者

法整備が見込まれる生鮮食品の機能性表示についての基礎知識を学びました。

参加者からは、「長野県産きのこの魅力やきのこの機能性がよくわかった」「色々な品目や産地で繰り返し実施してほしい」という声が多く上がりました。

卸売市場担当者にはきのこをはじめ長野の農産物の知識を深めていただき、有利販売につなげていただくことを大いに期待したいと思います。

食農教育では、農業を『すごい』と思わせることが大切！

～JA長野県グループ食農教育推進研究会を開催～

3月4日(水)、安曇野市サンモリッツで平成26年度JA長野県グループ食農教育推進研究会が開催されました。各JA・連合会の食農教育担当者など80名余が参加し、生産者組織等により取り組まれている食農教育活動の優良組織表彰と活動報告、研修、基調講演が行われました。

今年度の優良組織にはJA佐久浅間が選ばれました。同JAは、食農教育推進委員会を設立し、各部署と連携した推進体制を構築していることに加え、収穫、料理、伝統野菜の学習など、年間を通じた多岐に渡る企画を実践していることが評価されました。

研修では、総合子供の遊び情報研究所代表の東正樹氏が、食農教育の実践的手法として子どもの心をつかむ集団ゲームを紹介し、参加者全員で実際に行いました。東氏は「初対面の子どもと対する際は、両手でしっかり握手をして目を見て微笑みながら話すことが大切」と話しました。

基調講演では、作家・エッセイストの森久美子氏が、心を育む食農教育について講演しました。「いただきます」という動植物の生命をいただいている意味を持つことばの大切さ、生産現場から離れた場所で生活をして「1円でも安く」と行動することが、やがて故郷の喪失につながる、など興味深い内容でした。森氏は「食農教育で、農業の大変さを伝えても子ども心には響かない。農業を『すごい』と思わせることが大切」と強調しました。

子どもたちへの食農教育は、食に関心を持つ保護者を育てることにつながります。全農長野県本部はこの保護者の期待に応える、安全・安心新鮮な農畜産物の供給責任を果たしていきます。



人事異動

全農長野県本部(3月6日付)

- ▽長野県本部長付 (副本部長) 千野 勇
- ▽副本部長(畜産・生活担当) 真島茂夫 (管理・畜産担当)
- ▽副本部長(企画・管理担当) 丸山正道 (業務点検・コンプライアンス部長)

〈部長級〉

- ▽業務点検・コンプライアンス部長(管理部副部長) 北村 実
- ▽JA長野県営農センター長 (南信事業所長) 荻原正雄
- ▽生産販売部長 (東京販売事務所長) 嶋田武司
- ▽南信事業所長 (生産販売部長) 沖村俊彦
- ▽南信事業所生産販売課 (生産販売部長) 片桐邦俊
- ▽総合企画部付 (生産販売部長) 武田幸一
- ▽生産販売部付 (生活部付) 脇坂光洋
- ▽畜産酪農部付 (畜産酪農部畜産課) 吉川 浩
- ▽生活部付 (JA長野県営農センター長) 萩原 学
- ▽生活部付 (生活部付) 齋藤俊幸
- ▽生活部付 (A・コープ事業部付) 春日 勉

〈副部長級〉

- ▽総合企画部副部長兼企画課長 (同課長) 佐藤利久
- ▽管理部総務広報課 (A・コープ事業部副部長) 河上芳正
- ▽JA長野県営農センター次長兼農業振興グループ長 (長野販売事務所長) 小林一文

- ▽生産販売部副部長兼野菜花き課長 (同課長) 小澤卓夫
- ▽生産購買部生産資材課 (南信事業所次長) 萩原裕一
- ▽生産購買部副部長兼農業機械課長 (中信事業所次長) 永井俊幸
- ▽生活部副部長兼燃料ホーム・エネルギー課長 (生活部SS協同経営課長) 武井修一
- ▽東信事業所次長兼生活課長 (同課長) 池田伸一
- ▽南信事業所次長兼営農資材課長 (生産購買部副部長) 村山 勝
- ▽南信事業所次長兼生活課長 (同課長) 風間貞良

- ▽中信事業所次長兼生産販売課長 (同課長) 浅香久寿
- ▽北信事業所次長兼生産販売課長 (福岡販売事務所長) 外谷昌幸

- ▽北信事業所次長兼生活課長 (A・コープ事業部プロサリグループマネージャー) 池田洋一
- ▽東京販売事務所長 (北信事業所次長) 金井久雄
- ▽名古屋販売事務所長 (管理部総務広報課長) 中田広彦
- ▽畜産酪農部付(出向先変更) (同部付) 岩岡計匡
- ▽生活部付(出向先変更) (同部付) 石川光良
- ▽生活部付 (中信事業所次長) 征矢有一

〈課長級〉

- ▽管理部総務広報課長 (北信事業所生活課長) 山田展靖
- ▽管理部経理課長 (同課長代理) 高木昭彦
- ▽生活部SS協同経営課長 (東信事業所生活課) 上原克彦
- ▽生活部生活課 (A・コープ事業部管理グループマネージャー) 林 明寿
- ▽南信事業所生産販売課長代理 (大阪販売事務所次長) 北原直俊
- ▽JA長野県営農センター営農企画グループ長代理 (生活部燃料・ホームエネルギー課長) 和田 敏
- ▽北信事業所営農資材課長 (中信事業所営農資材課) 中村知実
- ▽大阪販売事務所次長 (中信事業所生産販売課長代理) 中田伸一
- ▽福岡販売事務所長 (JA長野県営農センター農業振興グループ長) 武井芳郎
- ▽長野販売事務所長 (生産販売部塩尻青果集品センター長) 佐藤勇人
- ▽全農業務監督部監査企画課 (北信事業所営農資材課長) 樋口清志
- ▽生活部付 (A・コープ事業部生鮮グループマネージャー) 工藤政文
- ▽生活部付 (A・コープ事業部店舗運営グループマネージャー) 依田 稔

平成27年度機構・要員・分掌について

1. 基本的な考え方

1. 県本部中期事業ビジョン(平成25～27年度)並びに中期事業計画に基づき、長野県JAグループの経済事業領域一体化体制の構築をはかるため、県本部機能の発揮と業務の効率化を目指した事業体制とするとともに、JA長野県経済事業改革の着実な実践と県本部総合経営管理制が堅持できる機構・分掌とする。

2. 長野県地域特性を活かした生産振興の強化と担い手支援対策にもとづく産地基盤の維持・形成のため、県及びJAグループの連携強化がはかれる体制とする。

3. 事業・経営環境の変化に対応する迅速な意思決定ができる業務体制を確立し、専門的業務の継続性および事業の効率性の維持強化をはかるため、要員体制は多様な雇用形態による効率的な体制とする。

II. 機構・分掌の主な変更内容

(1)戦略的産地振興のためのJA人間事交流の推進、技術員の統一募集や研修を行うため、営農企画グループ内に「営農技術員サポートセンター」を設置する。

(2)「塩尻青果集品センター」は、生活協同組合連合会コープネット事業連合からの業務受託の終了により、27年3月20日をもって廃止する。

- (3)「畜産課」を、家畜防疫および業務の効率化による推進強化のためJAビルに移転する。「松本肉畜販売所」は、現在地に継続して配置する。
- (4)株長野県食肉公社飯田支社の閉鎖・松本集約に伴い、「畜産課飯田駐在」を廃止する。
- (5)「三岳平谷牧場」は、平谷牧場の閉鎖に伴い「三岳牧場」とする。
- (6)JA松本市からのLPガス事業承継のため、LPガス小売モデル事業として、燃料・ホームエネルギー課内に「フミアイプロパン松本センター」を27年2月より設置する。
- (7)「LPガスセンター」は、LPガス小売モデル事業の発足に伴い、燃料・ホームエネルギー課内の業務として位置づけ、監視業務は「LPガス監視センター」が行う。
- (8)株長野県A・コープの発足に伴い、「A・コープ事業部」は27年3月末をもって廃止する。
- (9)JA木曽の生活課の分掌は、物流・業務実態等を考慮し、中信事業所から南信事業所に変更する。

4月の動き▶

総務 広報課	●JA全農 WCBF少年野球教室 4月18日(土) 松本市野球場 ●松本山雅FCホームゲームイベント(きのこPR) 4月25日(土) アルウィン
人事課	●新採用職員入会式 4月1日(水) JA長野県ビル
SS協同 経営課	●協同経営 松本臨空SS 洗車機導入キャンペーン 4月11日(土)～12日(日) 協同経営 松本臨空SS

今シーズンもブラクティスウェアスポンサーとして応援！
松本山雅FCにミツ山マーク入りベンチコートを贈呈！

全農長野県本部は松本山雅FCと当県本部のロゴマークが入ったベンチコートを製作し、3月14日(土)のホームゲームで贈呈式を行いました。(株)松本山雅 神田文之社長に小林哲男副本部長がベンチコートを手渡すと、神田社長が早速着用してサポーターにお披露目しました。

今シーズンの前半戦はナイトゲームが多いため、選手の皆さんがベンチコートを着用している姿を報道な



(株)松本山雅 神田社長(左)と小林副本部長(右)

全農長野県本部は今シーズンもブラクティスウェアスポンサーとして松本山雅FCを応援し、長野県農畜産物のPRに努めます。

どで見る機会が増えると思われま

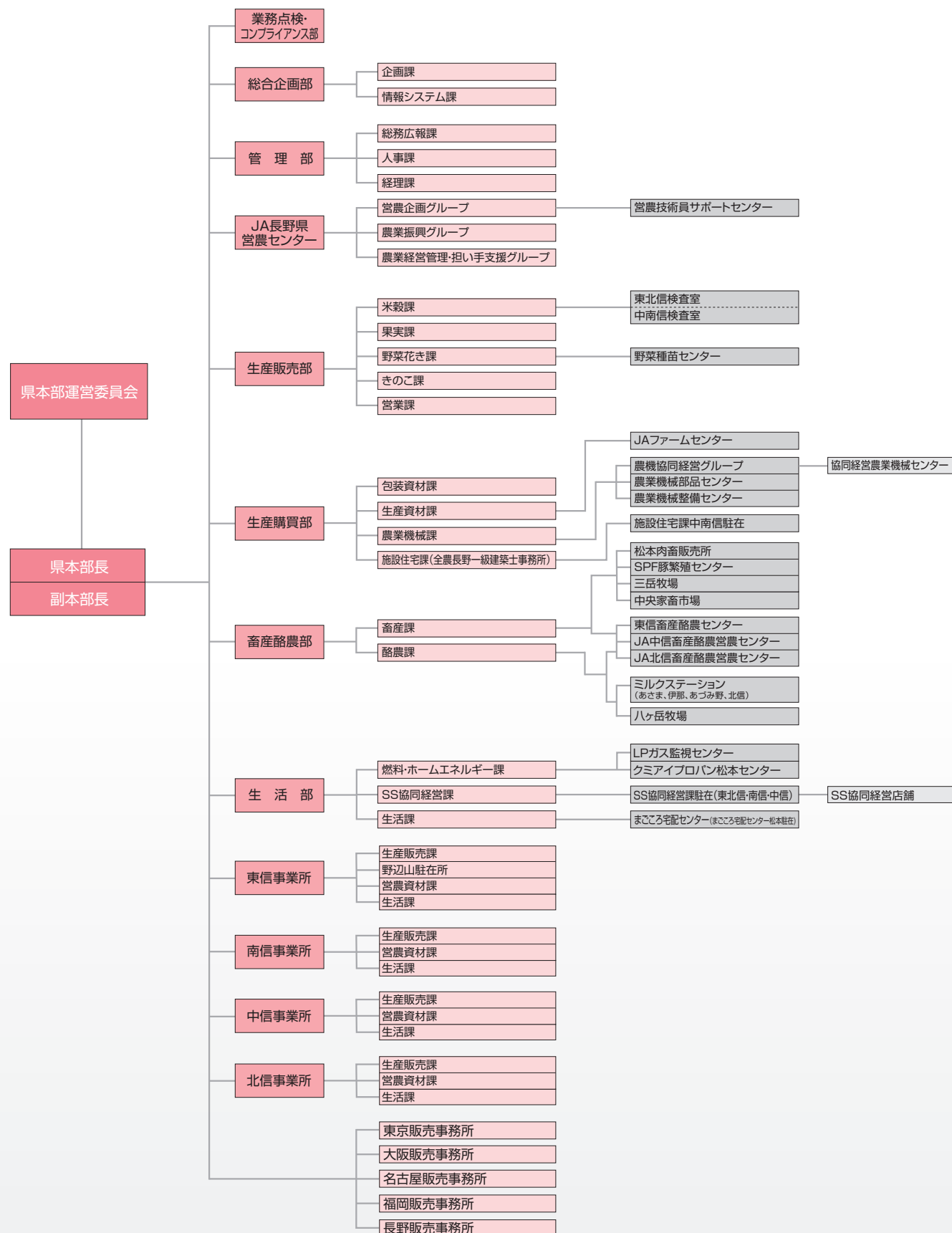
JA全農長野の事業現況

平成26年度2月末部門別実績表

(単位:百万円,%)

部門	区分	実績	計画比	前年比
米	穀	16,957	90	92
果	実	33,677	106	104
野菜	花き	65,218	108	103
野菜種苗センター		193	97	104
きのこ		20,943	93	100
営業		13,346	100	103
生産販売部計		150,334	102	101
包装資材		8,429	92	89
生産資材		12,095	107	89
農業機械		5,623	93	83
施設住宅		3,188	94	72
生産購買部計		29,336	98	86
畜産		11,560	111	105
三岳平谷牧場		239	115	119
SPF繁殖センター		256	100	104
酪農		16,397	110	104
ハケ岳牧場		244	88	98
畜産酪農部計		28,695	110	104
燃料・ホームエネルギー		28,341	97	90
SS協同経営		10,860	102	95
生活		12,818	99	98
生活部計		52,019	99	93
A・コープ事業部計		28,739	102	102
長野県本部計		289,122	102	98

平成27年度 全農長野県本部機構図



編集後記

春、日に日に暖かくなるのは嬉しいのですが、それに伴って辛いのが「花粉症」。鼻水の止まらない鼻にティッシュを詰め込み、それをマスクでごまかし・・・。

戦後、荒れた国内の林野を回復させるため進められた杉の植林。しかし、海外の安い木材の輸入で林業が衰退し、成長した杉の伐採がされず・・・似たような失敗を米で繰り返して欲しくないものです。鼻水の不快感は我慢しても(出来ないけど)空腹は我慢出来せんからね。4月12日は県議選投票日です。身近な県政を切っ掛けに、農政を考える良い機会だと思います。皆さん、是非とも投票所へ。

さて、私のあとがきも今月で最後になりました。思いつきだけの駄文のお付き合ひ、誠にありがとうございました。
「流水不腐 忙人不老」
再見

(N)



長野県オリジナル
りんご三兄弟®が
ソフトクリームになりました!

りんご三兄弟 **新登場**
**りんご三兄弟ソフト
トリプルセット**

販売元: (株)信越フリーザー

信州 光と風と水のハーモニー
JA全農長野

原材料のりんごは、JA全農長野より供給しているものです。

